

第2学年 音楽

第2学年の学習到達目標

- (1) 楽しい音楽活動を通して、音楽に対する興味関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) リズムに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3) 音楽の楽しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

第2学年の主な学習内容

学期	単元名 は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	うたでもだちのわをひろげよう みんなで1・2・3 ロンドンばし／こめむぎあそび うた／おちゃらかほい／小犬のピンゴ かくれんぼ えがおできょうも	音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする意欲を育てるようにする。 友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるようにする。	いろいろな国の言葉で歌う。 いろいろな国の歌で遊ぶ。 遊びの様子を思い浮かべ、歌い方を工夫して歌う。 身振りをつけて歌う。
	ドレミであそぼう ドレミのうた ドレミあそび かっこう かえるのがっしょう ぷっかりくじら	歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ったり、音高感を身に付けたりすることができるようにする。 階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。	ドレミの体操をしながら音楽を聴いたり、音楽合わせて歌ったりする。 ドレミの音の高さを覚える。 ドレミで歌ったり楽器で弾いたりする。 2組に分かれて輪奏を楽しむ。 歌に合わせて楽器を弾く。
	リズムにのってあそぼう トルコこうしんきょく／メヌエット いるかはざんぶらこ 山のポルカリズムあそび ピラミッドのうた	リズム譜に親しみ、拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。 拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、身体表現をしたり演奏の仕方を工夫したりすることができるようにする。	音楽に合わせて体を動かす。 3拍子のリズムに乗って遊ぶ。 2拍子のリズムに乗って演奏する。 リズムパターンを組み合わせ、手拍子や楽器で表現して楽しむ。 リズムに乗って体を動かしながら歌う。
後期	いい音を見つけてあそぼう 虫のこえ シンコペーテッドクロック 音さがし かぼちゃ	音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。 音色の違いを生かして音の組み合わせ方を工夫したり、拍の流れに乗って演奏したりすることができるようにする。	歌詞に使われている擬声語から情景を想像して歌う。 いろいろな音に気をつけて聴く。 好きな音を見つける。 音の組み合わせを考えて遊ぶ。
	ようすをおもいうかべよう 夕やけこやけ 口ぶえふきと小犬 小ぎつね	楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫することができるようにする。	歌詞から情景を想像して歌う。 小犬と散歩している様子を思い浮かべながら聴く。 小ぎつねの様子を思い浮かべながら歌う。

後期	みんなであわせよう 森の音がくかい えがおかがやいて こぐまの二月 木のはのゆうびん	楽器の音色や響きを感じ取って、 聴いたり演奏したりすることが できるようにする。 互いの声や音を聴きながら、拍の 流れを感じ取って演奏すること ができるようにする。	いろいろな楽器の音に気をつけ て聴く。 歌と楽器をあわせて演奏する。 きれいな音で合奏する。 互いの声を聞きあって歌う。
	のびのびとうたおう うたえバンバン はるがきた きみがよ	発音や声の出し方に関心をもっ て歌ったり、みんなで声を合わせ て歌う喜びを味わったりするこ とができるようにする。	みんなで声を合わせて、のびのび と楽しく歌う。 発音や声の出し方に気をつけて 歌う。 情景を想像しながら、曲全体の気 分を味わって歌う。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 音楽に対する興味・関心をもち、進んで音楽活動を楽しもうとする。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。</p> <p>【表現の技能】 模範の演奏を聴いて演奏したり、リズム譜に親しんだりするとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 音楽を特徴付けている要素に気を付けながら、曲の気分を感じ取って聴く。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>音楽科では、行動の観察、表現、鑑賞のワークシートなどを手がかりにして、子どものよい点や進歩の状況などを評価します。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

特色ある学習方法

- (1) 2年生では、リズム感覚を中心として、他の感覚を伸ばしながら、音楽表現の基礎的な能力を伸ばしていきます。音楽が聞こえてくると自然に体が動き出す。自分の好きな歌や得意な歌が自然とあふれ出す。音楽を体全体で感じ取り、音楽との一体感を求めていく。こうした子どもたちの姿を大切に学習を進めていきます。
- (2) 子どもたちは楽器を使った活動が大好きです。けん盤ハーモニカを個人持ちの楽器としています。息の使い方（タンギング）と指遣いで旋律を自分の目と耳で確かめながら演奏します。音に対する感覚を育成していきます。タンギングは3年生からのリコーダーの指導にもつながります。
- (3) 音楽の時間に扱う音は、声や楽器の音には限っていません。子どもたちを取り巻く音の世界が学習の対象です。耳を澄ますといろいろな音が聞こえてきます。大きな音や小さな音、長い音や短い音、不思議な音など、こうした音の違いに気付いていくことは、これからの音楽活動を進めていく上で大切な力となっていきます。このことは、「いい音を見つけてあそぼう」で主に学習します。

使用教材等

教科書「小学生のおんがく2」(教育芸術社) 「けんばんハーモニカ」 CD、ビデオ、歌集、楽器など

留意事項

- (1) 夏休みには、けん盤ハーモニカの宿題を出します。タンギングにも気を配り、教科書の絵譜をみながら指遣いに気を付けて練習します。ご家庭でのけん盤ハーモニカの練習にご協力をお願いします。励ましの言葉をかけてあげてください。
- (2) 「おちゃらかほい」などの手遊び歌やわらべうたを使って遊びます。保護者の方がご存じの「遊び歌」を子どもたちに伝えてあげてください。遊びながら自然に拍の流れを感じ取っていきます。